

県内の不法投棄の状況と撤去実績について

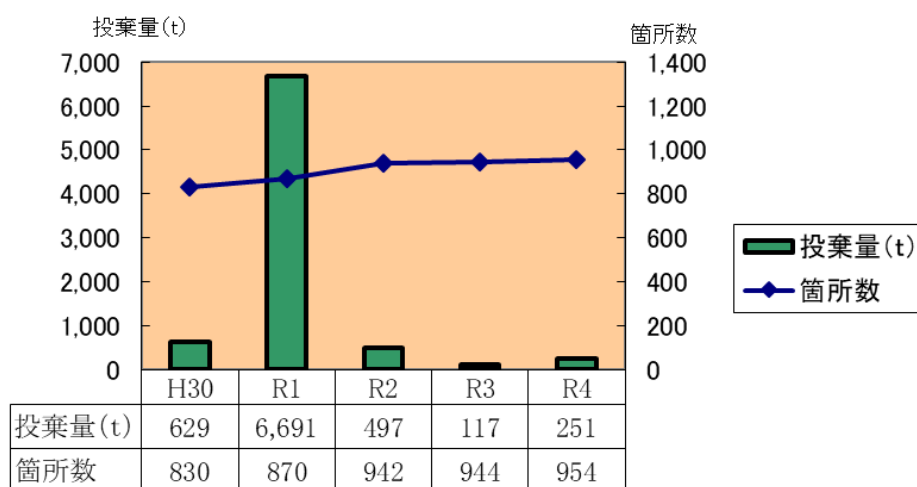
令和4年4月～令和5年3月までの間、各地域の廃棄物対策協議会による監視パトロールなどによって確認された不法投棄の状況、及び撤去実績は、以下のとおりである。

1 令和4年度中の状況と近年の推移

(1) 新規確認

- 新規確認の不法投棄量は251t(対前年度比114.5%増)であり、不法投棄箇所数は954箇所(対前年度比1.1%増)である。
- 投棄量は昨年度と比べ増加したが、例年に比べると少ない。
- 投棄箇所数は、近年横ばいの傾向にある。

県内の不法投棄新規確認箇所数及び新規確認投棄量の推移



(2) 撤去

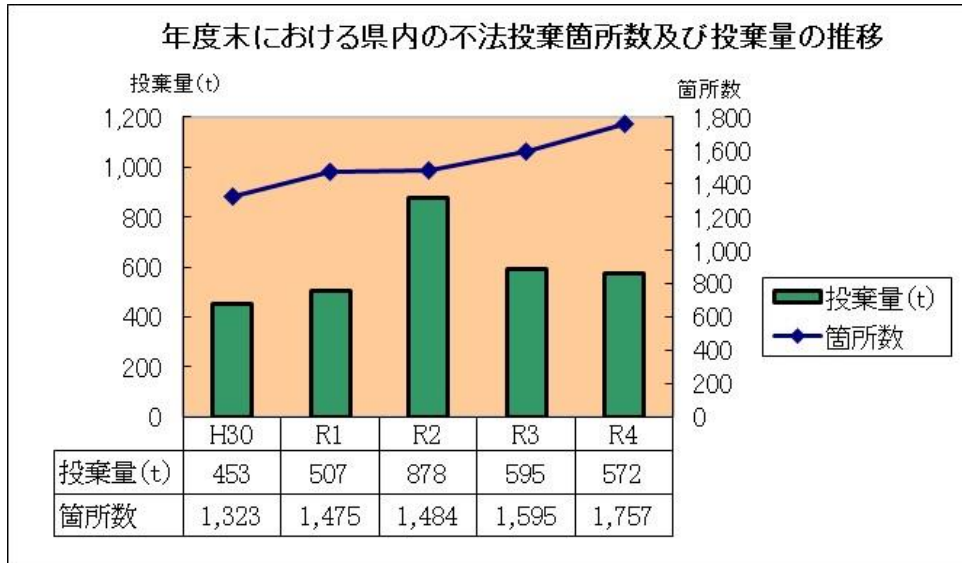
- 撤去量は274t(対前年度比31.5%減)であり、撤去箇所数は、792箇所(対前年度比4.9%減)である。
- 撤去箇所数は昨年度と比べ減少したが、例年なみである。

県内の不法投棄の撤去箇所数及び撤去量の推移



(3) 年度末の状況

- 残存している不法投棄量は572t(対前年度比3.9%減)であり、投棄箇所数は1,757箇所(対前年度比10.2%増)である。
- 残存箇所数は増加傾向にあるが、残存投棄量は昨年度と比べて減少した。



2 令和4年度中の廃棄物の種類別状況

- 新規確認した廃棄物の種類は、投棄量では一般廃棄物が42t(構成比16.6%)、産業廃棄物が210t(同83.4%)であり、投棄箇所では一般廃棄物925箇所(同97.0%)、産業廃棄物が29箇所(同3.0%)となっている。
- 撤去された廃棄物の種類は、撤去量では一般廃棄物が29t(構成比10.6%)、産業廃棄物が245t(同89.4%)であり、撤去箇所では一般廃棄物が764箇所(同96.5%)、産業廃棄物が28箇所(同3.5%)となっている。
- 残存している廃棄物の種類は、投棄量では一般廃棄物が293t(構成比51.2%)、産業廃棄物が279t(構成比48.8%)であり、投棄箇所では一般廃棄物が1,545箇所(構成比87.9%)、産業廃棄物が212箇所(構成比12.1%)となっている。

不法投棄の推移(県計)

(投棄量単位:トン)

区分	H30	R1	R2		R3		R4		
			前年比	前年比	前年比	前年比			
新規確認量	629	6,691	1,063.8	497	7.4	117	23.5	251	215.3
一般廃棄物	31	33	106.4	42	129.5	45	105.8	42	93.1
産業廃棄物	598	6,658	1,112.7	455	6.8	72	15.8	210	290.8
新規確認箇所数	830	870	104.8	942	108.3	944	100.2	954	101.1
一般廃棄物	755	793	105.0	894	112.7	909	101.7	925	101.8
産業廃棄物	75	77	102.7	48	62.3	35	72.9	29	82.9
撤去量	589	6,637	1,126.0	127	1.9	400	315.7	274	68.5
一般廃棄物	26	16	60.8	37	231.9	29	79.0	29	97.6
産業廃棄物	563	6,621	1,176.0	89	1.4	371	414.2	245	66.2
撤去箇所数	758	718	94.7	933	129.9	833	89.3	792	95.1
一般廃棄物	712	672	94.4	885	131.7	790	89.3	764	96.7
産業廃棄物	46	46	100.0	48	104.3	43	89.6	28	65.1
投棄量(年度末残量)	453	507	112.0	878	173.0	595	67.7	572	96.1
一般廃棄物	244	260	106.7	265	101.9	280	105.7	293	104.6
産業廃棄物	209	248	118.2	613	247.7	315	51.3	279	88.7
投棄箇所数(年度末)	1,323	1,475	111.5	1,484	100.6	1,595	107.5	1,757	110.2
一般廃棄物	1,135	1,256	110.7	1,265	100.7	1,384	109.4	1,545	111.6
産業廃棄物	188	219	116.5	219	100.0	211	96.3	212	100.5

- ※ 新規確認:年度内に新たに確認された廃棄物の投棄量。以前から確認されていた場所の投棄量が増加した場合は、量のみ加算。
- ※ 撤去:年度内に撤去された箇所数(箇所数は全量撤去した場合のみ減少)及び投棄廃棄物の撤去量(投棄者、土地管理者、市町村、廃対協等により撤去されたもの。なお、土地所有者の管理下で撤去と整理された分を含む。)
- ※ 投棄量及び撤去量については、四捨五入で計算して表記していることから、合計値が合わない場合がある。

3 令和4年度中の林務環境事務所別の状況

- 新規確認について、新規確認量は峡南が47.5%と多く、箇所数は峡東が37.6%、富士・東部が28.4%、中北が23.9%、峡南が10.1%となっている。
- 撤去について、撤去量は峡南が51.5%と多く、箇所数は峡東が42.3%、富士・東部が29.4%、中北が18.3%、峡南が10.0%となっている。
- 残存投棄量は、富士・東部が51.4%と多く、残存投棄箇所は富士・東部が31.1%、峡南が30.3%、中北が20.0%、峡東が18.6%となっている。

不法投棄の推移(県計)

(投棄量単位:トン)

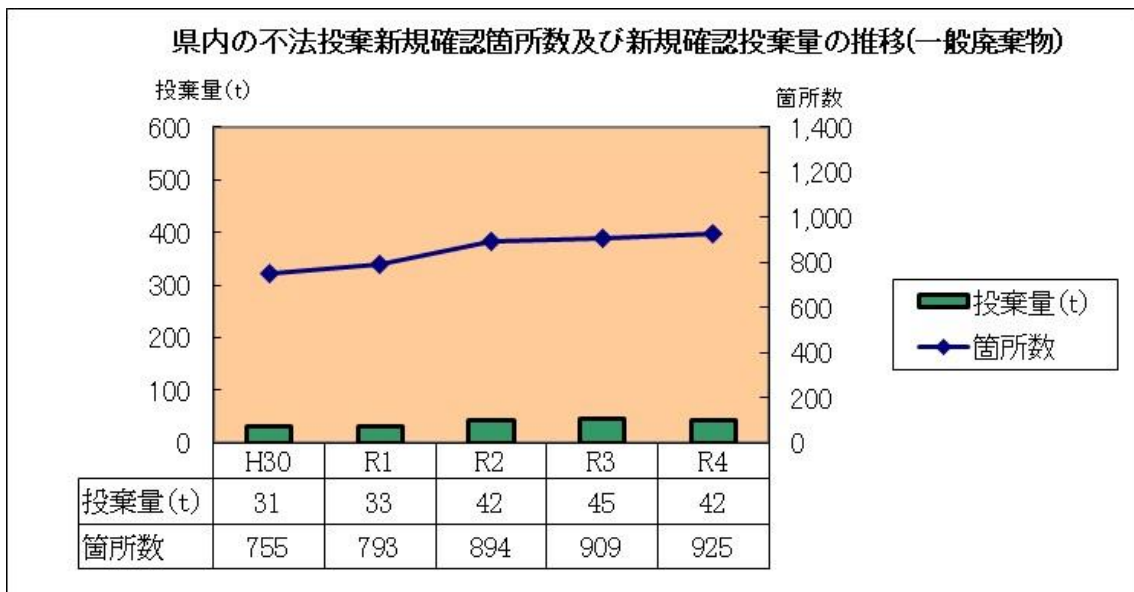
区分	H30	R1	R2		R3		R4		
			前年比/ 構成比	前年比/ 構成比	前年比/ 構成比	前年比/ 構成比			
新規確認量	629	6,691	1063.8	497	7.4	117	23.5	251	215.3
中北	566	26	0.4	28	5.6	43	37.0	105	42.0
峡東	31	8	0.1	353	70.9	14	11.9	13	5.2
峡南	9	6,231	93.1	78	15.6	31	26.6	119	47.5
富士・東部	23	426	6.4	39	7.8	29	24.5	13	5.4
新規確認箇所数	830	870	104.8	942	108.3	944	100.2	954	101.1
中北	209	235	27.0	181	19.2	177	18.8	228	23.9
峡東	335	280	32.2	374	39.7	359	38.0	359	37.6
峡南	94	96	11.0	84	8.9	103	10.9	96	10.1
富士・東部	192	259	29.8	303	32.2	305	32.3	271	28.4
撤去量	589	6,637	1126.8	127	1.9	400	315.7	274	68.5
中北	554	13	0.2	24	18.9	9	2.2	91	33.0
峡東	8	8	0.1	62	48.8	260	65.0	30	10.9
峡南	10	6,231	93.9	9	7.0	74	18.6	141	51.5
富士・東部	18	385	5.8	32	25.2	57	14.3	12	4.6
撤去箇所数	758	718	94.7	933	129.9	833	89.3	792	95.1
中北	193	156	21.7	131	14.0	130	15.6	145	18.3
峡東	265	290	40.4	420	45.0	315	37.8	335	42.3
峡南	134	87	12.1	78	8.4	75	9.0	79	10.0
富士・東部	166	185	25.8	304	32.6	313	37.6	233	29.4
投棄量(年度末残量)	453	595	131.3	878	147.7	595	67.7	572	96.1
中北	40	92	15.4	57	6.5	92	15.4	106	18.6
峡東	70	116	19.4	362	41.2	116	19.4	99	17.2
峡南	69	69	11.6	138	15.7	95	15.9	73	12.7
富士・東部	274	293	49.3	321	36.6	293	49.3	294	51.4
投棄箇所(年度末)	1,323	1,475	111.5	1,484	100.6	1,595	107.5	1,757	110.2
中北	92	171	11.6	221	14.9	268	16.8	351	20.0
峡東	314	304	20.6	258	17.4	302	18.9	326	18.6
峡南	474	483	32.7	489	33.0	517	32.4	534	30.3
富士・東部	443	517	35.1	516	34.8	508	31.8	546	31.1

※「前年比/構成比」欄は、事務所合計の行が前年比、事務所の行は構成比

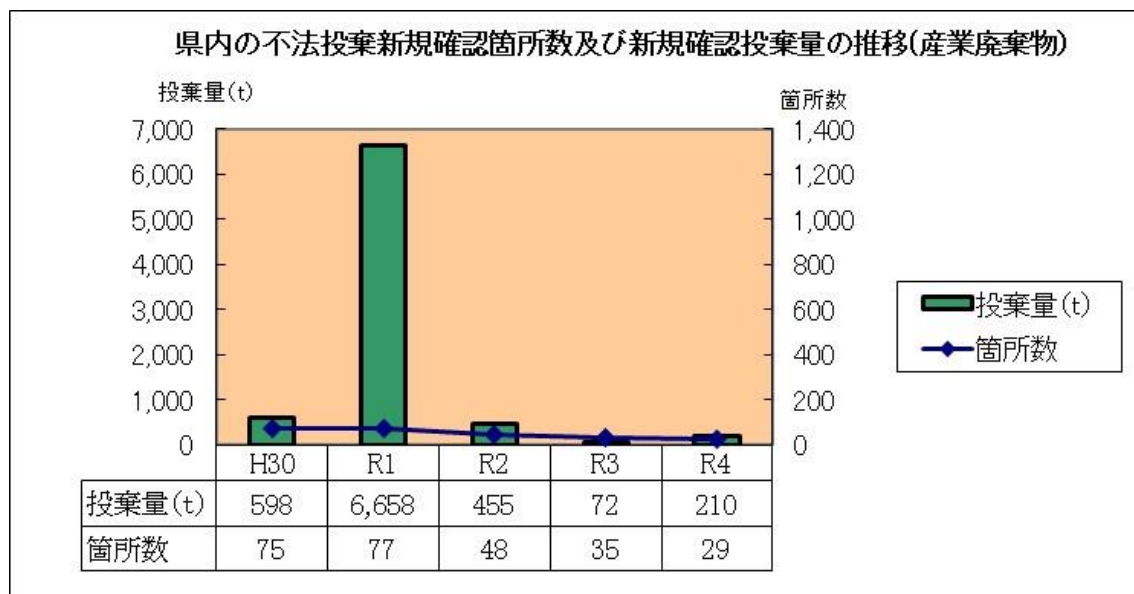
※投棄量及び撤去量については、四捨五入で計算して表記していることから、合計値が合わない場合がある。

(参考1) 一般廃棄物・産業廃棄物別 新規確認について

① 一般廃棄物

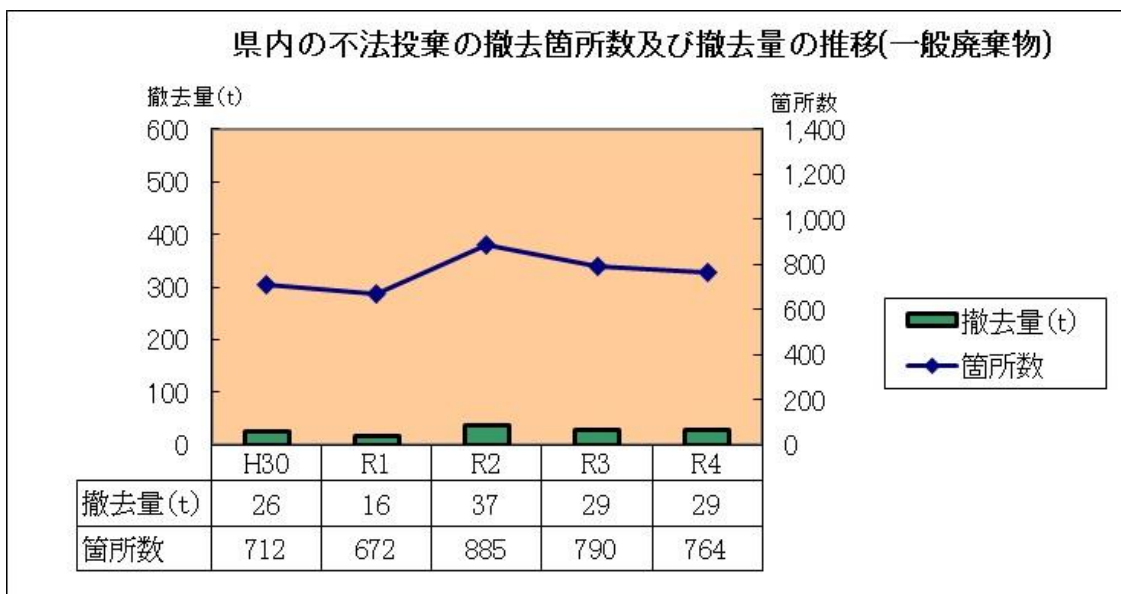


② 産業廃棄物

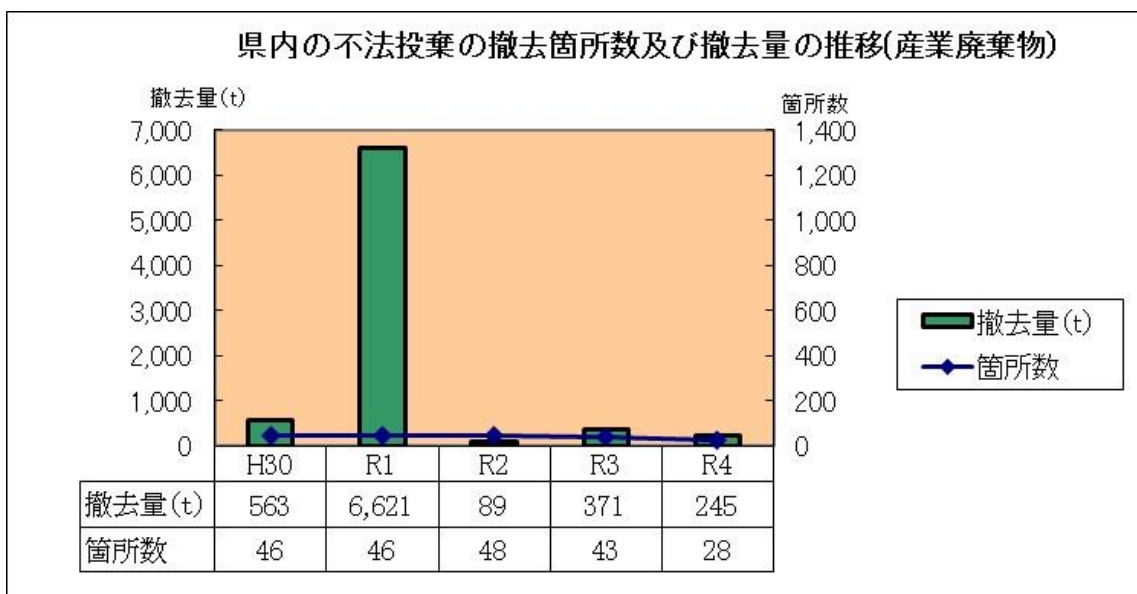


(参考2) 一般廃棄物・産業廃棄物別 撤去について

① 一般廃棄物

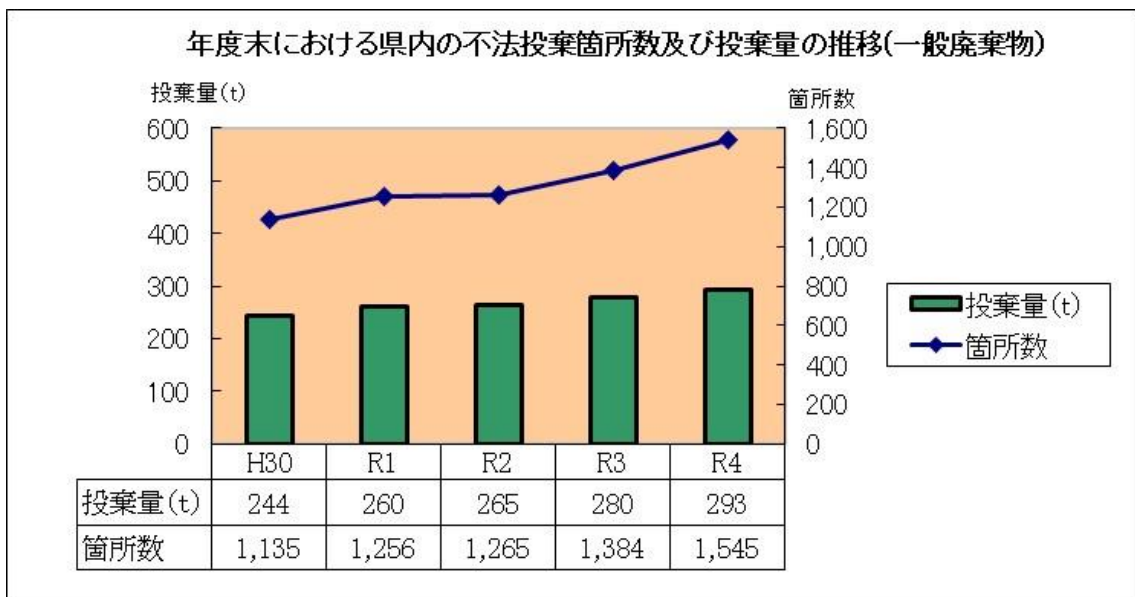


② 産業廃棄物

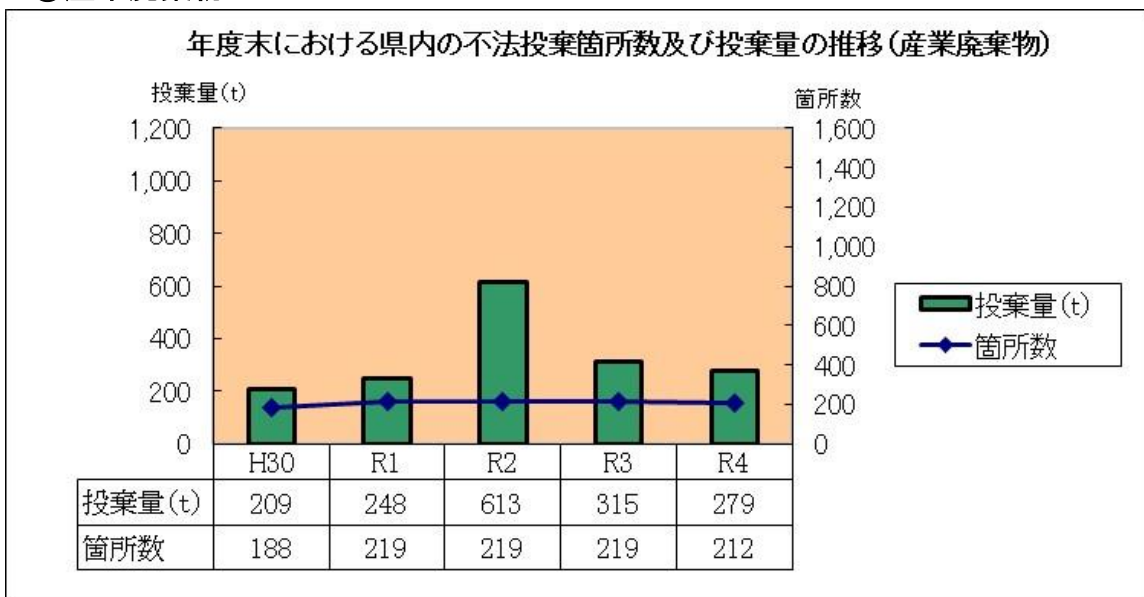


(参考3) 一般廃棄物・産業廃棄物別 年度末の状況につて

① 一般廃棄物



② 産業廃棄物



(資料)

不法投棄の状況と撤去実績(年度別・事務所別)

(投棄量単位:トン)

区分 (旧保健所管内)			H30		R1		R2		R3		R4	
			箇所数	投棄量	箇所数	投棄量	箇所数	投棄量	箇所数	投棄量	箇所数	投棄量
中北	甲府	年度初	30	15	33	15	73	23	92	24	105	25
		新規確認	113	507	102	15	82	6	70	7	106	24
		撤去	110	507	62	7	63	5	57	6	69	23
		年度末残	33	15	73	23	92	24	105	25	142	26
	小笠原	年度初	5	5	6	5	32	9	49	11	64	12
		新規確認	28	10	60	9	41	2	50	1	37	1
		撤去	27	10	34	5	24	0	35	1	14	0
		年度末残	6	5	32	9	49	11	64	12	87	12
	韮崎	年度初	41	7	53	20	66	21	80	22	99	55
		新規確認	68	49	73	2	58	20	57	35	85	80
		撤去	56	36	60	1	44	19	38	2	62	68
		年度末残	53	20	66	21	80	22	99	55	122	68
峡東	日下部	年度初	134	15	181	22	179	23	162	328	207	82
		新規確認	169	12	125	4	202	349	186	9	184	9
		撤去	122	5	127	4	219	44	141	255	161	27
		年度末残	181	22	179	23	162	328	207	82	230	64
	石和	年度初	110	33	133	48	125	48	96	34	95	34
		新規確認	166	18	155	4	172	3	173	5	175	4
		撤去	143	4	163	4	201	18	174	5	174	3
		年度末残	133	48	125	48	96	34	95	34	96	35
峡南	身延	年度初	514	70	474	69	483	69	489	138	517	95
		新規確認	94	9	96	6,231	84	78	103	31	96	119
		撤去	134	10	87	6,231	78	9	75	74	79	141
		年度末残	474	69	483	69	489	138	517	95	534	73
富士・東部	大月	年度初	153	176	158	180	196	217	219	221	232	194
		新規確認	33	16	75	38	91	28	99	16	84	7
		撤去	28	12	37	2	68	24	86	43	61	4
		年度末残	158	180	196	217	219	221	232	194	255	197
	吉田	年度初	264	92	285	94	321	98	297	101	276	99
		新規確認	159	7	184	387	212	11	206	13	187	6
		撤去	138	6	148	383	236	8	227	15	172	8
		年度末残	285	94	321	98	297	101	276	99	291	97
合計	年度初	1,251	413	1,323	453	1,475	507	1,484	878	1,595	595	
	新規確認	830	629	870	6,691	942	497	944	117	954	251	
	撤去	758	589	718	6,637	933	127	833	400	792	274	
	年度末残	1,323	453	1,475	507	1,484	878	1,595	595	1,757	572	

「年度初」欄：年度初に確認されている投棄箇所及び投棄廃棄物量（前年度の「年度末残」と一致）

「新規確認」欄：年度内に新たに確認された投棄箇所及び投棄廃棄物量（以前から確認されていた場所に、年度内に新たな投棄を確認した場合は、量のみを増加させる）

「撤去」欄：年度内に撤去された箇所数（箇所数は全量撤去した場合のみ減少）及び投棄廃棄物の撤去量（投棄者、土地管理者、市町村、廃対協等により撤去されたもの。なお、土地所有者の管理下で撤去と整理された分を含む。）

「年度末残」欄：年度末における管内の投棄箇所及び投棄廃棄物量

※ 投棄量及び撤去量については、四捨五入で計算して表記していることから、合計値が合わない場合がある。